

兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第2バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。

2022年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

今回はサンパウロ発行「第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修」「第1章 典礼の刷新と促進のための一般原則」の「V 典礼的司牧生活の促進」を解説します。

私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、一緒に学びましょう。

尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

V 典礼的司牧生活の促進

典礼憲章

⑰ ～第二バチカン公会議公文書より～

聖なる【典礼】を促進し、刷新しようとする熱意は、今、この時代に対して向けられた神様のご計画のしるしであり、教会における聖霊の働きであると考えられます。しかもこれは、教会の生活だけでなく、今を生きるわたしたちの宗教的感覚とわたしたちの行動全てを特徴付けています。

そのため、聖なる公会議は、この典礼による司牧活動（キリストの祈りに与り、キリストの愛を人々に伝える活動）を教会の中で更に促進するため、次のことを決めました。

- ・各国典礼委員会：典礼に関する事柄の規制について、一定の範囲においては合法的に設立された種々の地域の管轄権を有する司教団（地域所轄の教会権威者）によって、
[典礼委員会] が設置されることは望ましいことです。

[典礼委員会] は

- * 典礼学
- * 教会音楽
- * 教会芸術
- * 司牧

これらに関する専門家の助けを受けます。

出来るならば、上記の事柄に秀でた一般信徒も含めて構成し、典礼司牧研究所のような機関の支援を受けます。

[典礼委員会] の任務は、地域教会の司教団の指導のもと、典礼司牧活動を地域内で規制すること。また、その適応に関して使徒座に提出することがあれば、これに関する「研究」と「必要な試み」とを推進することです。

(つづく)